
ヤンキー君とメガネちゃん番外編

姫路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤンキー君とメガネちゃん番外編

【Nコード】

N8732H

【作者名】

姫路

【あらすじ】

品川大地が突然・・・足立花の中学生時代は・・・
気になることがいっぱいだよ

一話 人物紹介

足立 花 あだちはな パツと見は、勉強が出来る。女の子。
中学生時代は、不良

品川 大地 しながわだいち
学校一の不良だが、花のトラブルに巻き込まれるのも、一番。

千葉 星矢 ちばせい
背が高く、頭が良く、顔が怖い優等生。ヤクザにスカウトされた
ことも、ある。

和泉 岳 いずみがく 元暴走族。今は、喧嘩が強くて、頭がいい自信満々な奴。
だが、喧嘩は、花に負けて、勉強は、千葉に負ける。

2話 花の中学生時代（前書き）

○は、品川大地が思ったことです。

2話 花の中学生時代

ある日、品川が突然言った。

「足立お前は、どんな、中学生時代だったんだ？」

と

花は、「品川・・・君？熱でもあるんじゃないですか？」

と言った。

そのあとに、岳と星矢が言った。

「俺も気になる！」

「僕も気になる！」

と

花は、仕方なく、こう言った。

「私は、先生や親、クラスメートに避けられました。」

（当たり前だ！）

「友達は、約5万人いました。」

（多すぎるよ！！）

岳が興味津々に聞いた

「あとは、無いのか？中学生時代は、大事な時期だからな！いろいろあるだろ！」

「あとは、……外に出るといつも喧嘩をしましたね。」

（え！えー！ありえねえー！ね。ってなんだよ！こっち見ながら言うんじゃないやあねえよ！！）

「いつも帰りは、10時になります。」

（へえーって！おい！ちよつと待てよ……学校が終わるのが、5時でそれから喧嘩かよ！がんばるなあ〜）

星矢が怯えながら言った。

「あ、あ、足立……さんって……す、すごいねえ〜」

花は、ニコつと笑い

「それ位です。」

（それ位って！）

いきなり言った。

「あー！！」

品川が

「何だよ！いきなりよー！」

「一つ忘れてました。一番大事なこと！」

星矢が

「何？何？」

と

「私の実家ヤクザです。」

(や、や、や、ヤクザってー！！！！)
次の日、星矢が言った

「昨日は、凄かったね。」

花が言った。

「そうですか？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8732h/>

ヤンキー君とメガネちゃん番外編

2010年10月23日22時17分発行